

新

年、明けましておめでとうございます。

平成24年の初春を市民の皆様とともに迎えらるる喜びを、心からかみしめております。

昨年は、日本人にとって忘れられない年になってしまいました。3月11日、午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖の大地震、そして巨大津波により、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。今なお仮設の住宅で不自由な生活を送っておられる方々も大勢いらっしゃいます。

お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

また、東京電力福島第一原子力発電所が重大故を起こし、精神的、肉体的、そして経済的にも大きな被害をもたらしました。今なお、たいへんな状況であり、一日も早い収束を願うところであります。

この災害で、我々は、大自然の恐ろしさ、凄まじさを思い知らされましたが、それと同時に、毎日何気なく使用している水、電気、ガスなどの有難さを、そして何よりも、家族、地域の助け合い、「絆」の大切さを知らされました。

そのような中、私は、11月の市長選挙におきまして、市民の皆様のご支援をいただ

き、引き続き市政運営に携わることになりました。改めて与えられた責任の重大さを痛感しております。

折しも、今までにない被害を受けた年にスタートとなった3期目ではありますが、この4年間は、土浦市にとって、次の世代に引き継いでいくための新たな礎を築く、極めて重要な時期になりますことから、市民の皆様への負託に応えるべく、全身全霊を傾ける決意であります。

特に、新治村との合併6年目を迎え、地域の一体感が醸成される中、市役所本庁舎、図書館、消防本部庁舎、市営斎場の建設、小町の里の整備など、合併特例債事業に位置付けております10事業を着実に実行に移し、中心市街地の活性化はもとより、土浦市全体の都市活力の増進につなげてまいりたいと考えております。

時代は、グローバル化、人口減少と、かつて経験したことのない変革が、様々な場面で進んでおります。

こうした社会変化にも柔軟に対応しながら、私のまちづくりの基本姿勢であります「行財政改革による市民サービスの向上」、「市民の皆様との協働のまちづくりの推進」の一層の取組みにより、「日本一住みやすいまち土浦」の実現に向けて新たな飛躍の年にしたいと思います。

今年一年、市民の皆様のご健勝と、より良き平成24年になることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



土浦市長 中川 清

年頭のごあいさつ